

皆様お元気でしょうか？

新型コロナウイルスの防止策で会場が使えず、何も活動できないまま、梅雨に入りました。日々目まぐるしい動きが続いています。最近は2～30代が多くかかっています。密を避けるのが無理なのか、俺達は大丈夫！と思うのか？？ 治った方も以前の体調にはなかなか戻れない・・・など、新しい情報も伝えられています。亡くなられた方のご冥福を祈ります。

千葉県は5月31日に宣言は解かれましたが、不要不急の外出はしないよう、3密も避けるように言われています。東京に近いこのあたりは守らないといけませんね。当分の間、コロナと共に生きる覚悟が必要です。我孫子市では、7月から各種会場が使えるようになります。

7月定例会

日時 7月6日(月) 13:30～16:00

会場 我孫子南近隣センター F8 和室

- ・新型コロナウイルスについて
- ・DVD「プラスチックごみ～

日本のリサイクル幻想」視聴

市民活動支援課からの要請です。マスク着用のこと。手指を良く洗うこと。発熱がないこと。具合の悪い方は参加を控えて下さい。

メールで連絡出来る方、登録を！

先月の会報で、「パソコンまたはスマホで、簡単な連絡が行なえると、とても便利です。この際、私のメールアドレスに入れていただければ、連絡しやすいと気付きました。」と書きました。その際、ドットとカンマを打ち間違えました。戻ってしまった方、再度ご登録ください。

mywada_1206@ae.auone-net.jp です。

新型コロナウイルスについて

・笑っていますか？

先月、笑うことが大切だと言われていると書きました。いろいろな方から、「なんととも憂鬱な日々ですね」というメールをいただきますが、私は毎日、1人で「笑いヨガ」のまねをしています。

・マスクのこと知っていますか？

コロナを広めないため、マスクは必要ですが、結構息苦しいものですね。人が少ない場所では外し、混んでいる所、人と話す時は必ず掛けるなど、ご自分の判断も必要です。熱中症にならないように水分の補給も大切です！

× × ×

◆マスクに表裏があるって知っていましたか？

6月10日放送のNHK「ガッテン」で使い捨ての不織布マスク、「逆につけると、呼吸が苦しいし、ウイルス防御率も落ちる」と放送されました。一見どちらの面も白くて同じように見えても、表裏が指定されているものは、実はメーカーそれぞれで性能や快適性を高めるため表側と裏側には別々の機能が付与されているのだそうです。パッケージはすぐに捨てずに説明書に表裏の指定がないか確かめることが大切とのことでした。

私が使っているマスクも、箱に書いてありました。書いていない袋のものもありました。

◆0.3μm以上のウイルス捕集効率

ETV 特集「マスクが消えた日」の中で国産のマスクを開発中の石垣陽さんが実験したマスクの効率が気になりました。

サージカルマスク(中国製)	94%
家庭用マスク・不織布(国産)	84%
石垣さん開発中のマスク	73%

家庭用マスク・不織布（中国製） 42%

政府配布の布マスク 31%

ということは、手作りマスクも30%台かもしれません。

間に不織布を入れるなどの工夫が必要かも。

コロナ関連の言葉

コロナ関連で、毎日のように新しいカタカナ文字が使われました。今後も続くと見て、現時点で書き留めておきたいと思いました。

今年の流行語大賞はカタカナのコロナ関係の言葉から出るかも知れません。簡単には訳せませんが、まずは下記の一覧表を見てください。

パンデミック 感染症の世界的大流行

クラスター 集団感染（になる集団の群れ）

オーバーシュート 感染爆発

ロックダウン 都市封鎖

アウトブレイク 突発的感染拡大

エアロゾル 気体中に浮遊する粒子

ソーシャルディスタンス 社会的距離

フィジカルディスタンス 身体的距離

（最近はこちらになってきました）

テレワーク 離れた所で働く

リモートワーク 離れた所でチームで働く

サーベイランス 見張り、監視制度

ウイズコロナ 新型コロナと共存、共生

インフォデミック 噂、デマの情報氾濫

アラート 警報

◆世界的流行なので専門用語になるのは、仕方がありませんが、本当にカタカナばかりです。

河野防衛大臣は「クラスターは集団感染ではだめなのか？なんでカタカナ？」とツイッターに投稿し、話題を呼んでいます。

（ツイッター：140字内のつぶやき）

英語が好きなのは小池都知事。クラスター、オーバーシュート、ロックダウン、ステイホーム、東京アラート、ウイズコロナなど次々に打ち出しました。その意図はともかく、耳慣れない言葉で注目を集めました。

ステイホーム。小池さんが言うとお家に行きましょう。NHKだと「家ですごそう」。強く

発音すると「家にいろ」。もっと激しく言うと「家から出るな！」でしょうね。言葉は言い方によって意味が微妙に違いますね。ちなみにステイホームはアメリカのメディアが使用。ステイ・アト・ホームはイギリスが使用しています。

◆ところで、世界保健機関（WHO）は2月11日に今回の新型コロナウイルスの正式名称を「COVID-19」（コビッド19）と名付けました。「コロナ（Corona）」、「ウイルス（Virus）」、「病気（Disease）」という単語と、この病気がWHOに報告された「2019年」の組み合わせでできています。日本では2020年から大騒ぎになりましたが、2019年からすでに始まっていたことがわかります。

◆「コロナ禍」は何と読むでしょうか？

毎日新聞の「15歳ニュース」が面白かったので引用します。

＝新型コロナウイルスのニュースで聞く言葉にはやけに難解なものが多い。「コロナ禍（か）」を「コロナなべ」と読んでしまった編集部の記者が、「コロナ用語」について改めて調べてみた。コロナ禍は「コロナか」と読む。「禍」はわざわいの意味。主に「新型コロナウイルスによる被害（ひがい）」の意味で使われている。「ペスト禍」「エイズ禍」「マラリア禍」などの言葉もある＝

◆その他、エクモ（体外式模型人工肺）などの医療機器名やアビガン、レムデシビルなどの薬品名もカタカナでどんどん出てきました。（加藤）

* * *

鬱にならないように、サラリーマン川柳から

- ・デザートは昔ケーキで今菓
 - ・メモ帳のしまい場所にもメモがいる
 - ・驚いた惚れると惚（ぼ）けるは同じ文字
 - ・いたわりも耳が遠くて怒鳴り声
 - ・忘れ得ぬ人はいるけど名を忘れ
 - ・この動悸昔は恋で今病
 - ・クラス会食後は菓の説明会
- 「東北を忘れない旅」は残念ながら、今年には行ないません。
どうぞ皆様お元気で！！

